

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

パーパス

共に歩み、未来をひらく 多様な幸せと希望に満ちた世界へ

海外生保利益貢献比率
40%修正ROE
10%超想定資本コスト
9%

② 中長期の経営戦略

1. 国内保障事業

マーケットイン思想による価値創造。保障と資産形成・承継の一体的提供。リアルチャネルとオンライン接点の強化

3. 資産形成・承継事業

国内外グループ連携による商品競争力・コンサルティング・アセットマネジメント能力の強化

2. 海外生保事業

オーガニック成長と戦略的M&Aの両輪。2027年3月期に利益貢献比率40%を目指す

4. 新規事業

ベネフィット・ステーション活用で非保険を含むエコシステム構築。保険サービス業への変革

③ 対処すべき課題

① 新契約業績の回復

- ・ コロナ前水準への回帰に向け道半ば。魅力的商品・高品質コンサルティング提供が必要
- ・ AI活用による販売・アンダーライティング部門の生産性大幅向上

② 信頼回復

- ・ 2025年3月期に保険代理店出向者による個人情報漏洩事案が判明
- ・ グループとして再発防止に徹底して取り組み、信頼回復に努める

③ 資本効率・成長性の向上

- ・ グローバルトップティア水準とのギャップを縮める
- ・ 2031年3月に日本の保険業界の未来を先導する存在、グローバルトップティアに伍する保険グループになること

面接で使えるポイント

- ・ 1902年創業から続く「共に歩み、未来をひらく」パーパスのもと、グローバルに事業展開しながら社会課題解決に挑戦
- ・ 2025年3月期に修正ROE10%超を達成。2027年度に海外生保事業利益貢献40%を目指す成長戦略
- ・ AI活用による生産性向上、M&Aによるインオーガニック成長、ベネフィット・ワン統合による非保険エコシステム構築

証券コード 8750

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）

－（推移を描ける期数の開示がありません）

暗記する数字3つ

連結売上高
7,537億円営業利益率
－（未開示）財務健康度
46点 / 100点

将来性 晴れ時々曇り / 就活偏差値 63.0（当サイト算出の参考指標）

平均年収

1,143万円

保険業内 5位/12社

平均年齢

39.0歳

保険業内 10位/12社

平均勤続

10.0年

保険業内 4位/12社

女性管理職

17.7%

保険業内 6位/11社

男性育休

75.0%

保険業内 5位/10社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

要するに

株式会社第一ライフグループの事業要約

…

主力事業・セグメント

- 国内保険 69.4%
- 海外保険 30.0%
- その他 0.7%

強み・特徴（公開データから）

- 連結売上高7,537億円の事業規模
- 将来性評価は晴れ時々曇り
- 東証プライム市場上場

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

参考: 次世代の「挑戦」の伴走者へ… 第一ライフグループが八村塁の「

